

5/14

高齢者と家族が安心できる支援を

第72回介護者のつどい「地域包括支援センターの役割」

筑紫野市介護を考える家族の会が主催する「介護者のつどい」。今回は市が委託する地域包括支援センター「アシスト桜台」の社会福祉士、深町 一美さんを講師に招き、生涯学習センターで講義を行いました。

65歳以上の高齢者に関する相談窓口になる地域包括支援センターは市に4カ所あり相談は無料であること、さまざまな機関と連携し、悩みの解決を図ることなどの説明があり、「気軽に「包括」に相談を！」と話していました。



90人の参加者の皆さんが真剣に話を聞いていました

5/21

水の恵みに感謝する

水源祭

山口川水利組合が主催する水源祭が開催されました。水の恵みに感謝し水害防止や五穀豊穰を願い、これから田植えに入るこの時期に毎年開催しているもので、市営水呑ダムと、その上流にある練富士池で祈願を行いました。

4月、5月は例年に比べて降水量が少なくなっていますが、組合長を務める原野 忠俊さんは「水源祭を行ったことで水不足の心配が解消されることを願っています」と話していました。



練富士池で祈願する山口川水利組合の皆さん

5/12

防災の備えは基本から

消防団筑紫分団・筑紫南分団合同訓練

筑紫・筑紫南両分団の合同訓練が宝満川河川敷で行われ、新入団員をはじめ、両分団の団員40人が参加しました。

消防団では、訓練礼式を身につけることを今年度の重点項目としています。この日は、筑紫野消防署員の指導を受けながら基本である規律動作を中心に訓練を行いました。強い日差しの中、号令がかかると団員たちは大きな声で合図しながら動きの確認を行い、終了後には器具点検により、万が一に備えました。



基本的な動きを繰り返し確認しました

5/13

交通事故死ゼロを目指して

春の交通安全県民運動出陣式

春の交通安全県民運動(5月11日~20日)の出陣式が生涯学習センターで開催されました。見守り活動を行う地域の皆さんや運輸業に携わる団体などが参加し、運動の重点事項などを確認しました。

はなその保育園(市内塔原南)の園児の皆さんが、いつも見守ってくれる警察署員や地域の皆さんに対してお礼と歌のプレゼントをした後、パトカーや白バイなどの車両部隊がパトロールに出発しました。



園児の皆さんに見送られて出発する車両部隊